

すずかけ

すみだ女性センター

関東大震災から100年

特集

もう一度防災について見直してみよう

2 巻頭インタビュー

4 特集

関東大震災から100年
もう一度防災について
見直してみよう

8 になりたい自分、になりたい未来
すみだの
「お仕事探訪」

9 今日の一字

10 すずかけ
インフォメーション

12 こんにちは
すみださん



巻頭インタビュー
サッカー選手
岩清水 梓 さん

こんにちは すみださん
防災士
西村 紀子 さん

表紙イラストは、
すみだ女性センターの
愛称である
「すずかけ」の実です。



サッカー選手

岩清水 梓さん

Azusa Iwashimizu

サッカーでの活躍について教えてください。

小学校1年生の頃、友達がサッカーの少年団に入るといので、一緒について行ったことが始まりでした。チームには女子が3人いましたが、最後まで続けたのは自分だけ。サッカーは遊びの延長だったので、ただただ楽しかったです。小学校3年生くらいになる

と試合時に「女かよ」みたいなことを言われることもありました。そんな時はプレーで見返していましたね。上手くなりたい、勝ちたいという思いが出てきたのもその頃でした。中学校で女子がサッカーを続けられる環境は少なく、小学校でやめてしまう女子がほとんど。私も中学校ではソフトボール部に入るつもりでしたが、小学校6年生に

なった頃、父に連れられクラブチームの入団試験を受けました。運良く受かったのでサッカーを続けることができました。サッカーを好きな女子が続けられるような環境がもっと増えればいいのになと思います。

クラブチームに入り驚いたのは、サッカーの上手い女子がこんなにいるんだということ。悔しくてやめたくなる瞬間もありました

Profile

日テレ・東京ヴェルディベレーザ所属。ポジションはディフェンダー。平成23(2011)年、なでしこジャパンで日本サッカー界初のW杯優勝。令和3(2021)年に長男を出産後、現役復帰を果たした。現在、日本初の女子プロサッカーリーグ・WEリーグで活躍中。



が、父に「簡単にやめるな」と言われ、頑張り続けました。そのおかげでここまで来ています。なでしこジャパンで日本代表として初のW杯優勝という結果を出すこともできました。女子サッカーを多くの人が知ってもらえる大きな出来事だったと思います。昨年、日本女子サッカー初のプロリーグが始動しました。プロとして頑張る熱い思いがみんなのプレーにあらわれ

子育ても、サッカーも、挑戦の連続 それがモチベーションの源です

ています。これをきっかけに、さらに女子サッカーを盛り上げていきたいですね。

現役復帰と子育てについて教えてください。

30歳を過ぎてから、今までサッカー一筋だった人生に、結婚・妊娠という新たな局面が訪れました。「引退のタイミングか」と思いながら母に相談すると、「出産後も復帰して続けてみたら？」と言われ、その手もあつたかと現役継続の道を考え始めました。ベテランになり、新しい刺激やモチベーションが少なくなっている中、新たな挑戦に巡り合えた気持

ちになりました。同じ時期、

日本サッカー協会が女子プロリーグの立ち上げに際して、多様性や女性の活躍を重視しようという機運が高まり、私へのサポート体制を筆頭に、様々な支援体制が整備され始めました。そこで復帰への使命感が強くなり、後には続く人たちが同じようにチャレンジする時のひとつの指標になりたいと思ったのです。

でも、いざやってみたらやはり簡単ではなくて。翌年に妊娠された他チームの選手は、産まれる一週間前までグラウンドを走っていたそうですが、私は産前産後、全く動かせませんでした。

それほど個人差が大きく、すべて手探り。さらにコロナ禍だったので、産後トレーニングの始まりはオンラインで：難しかったですね。

子どもが生まれてからも大変なことの連続。生活が一変しました。アスリートとして睡眠の質にはこだわっていたのですが、とてもそれどころじゃなくて。夜中、少し子どもが咳き込んだだけでもパツと目が覚めるんですよ。何事も子どもが一番、自分が二番。その中で、パフォーマンスを出さなければいけないことは、難しいですが楽しくもあり、充実しています。いろいろな面で強く、そして

柔軟になり、今までよりさらに頭の切替が上手になりました。グラウンドに入った瞬間に選手スイッチが入り、練習に集中。練習が終われば、ママスイッチが入る。サッカーで落ち込んでいても、子どもといるとそれを忘れるくらい忙しくて、笑わせてくれて。子どものおかげでサッカーのモチベーションも一段と高まりました。子どもを抱っこして選手入場するという目標を達成した今、次は子どもに挑戦し続けたいです。

柔軟になり、今までよりさらに頭の切替が上手になりました。グラウンドに入った瞬間に選手スイッチが入り、練習に集中。練習が終われば、ママスイッチが入る。サッカーで落ち込んでいても、子どもといるとそれを忘れるくらい忙しくて、笑わせてくれて。子どものおかげでサッカーのモチベーションも一段と高まりました。子どもを抱っこして選手入場するという目標を達成した今、次は子どもに挑戦し続けたいです。



もう一度防災について 見直してみよう



1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災から今年で100年になります。近年、地震、大型台風、ゲリラ豪雨等が世界的に多発し、自然災害の危険性が高まっています。墨田区は、地理的条件からみて、地震・水害・火災などに弱いとされています。関東大震災100年をきっかけに、いざという時に命を守る行動がとれるよう、私達ひとりひとりの防災行動を、今一度確認してみませんか。

防災ミニクイズ

知っているようで意外と知らない、防災にまつわるアレコレをクイズにしてみました。

Q1

地震でも水害でも、避難する場所は同じである。
○か、×か?

Q3

どんな災害も区からの指示を待って行動する。
○か、×か?

Q5

トイレに困った時にあると便利なものは、次のうちどれ?

- 1 新聞紙
- 2 ポリ袋や段ボール
- 3 紙おむつ
- 4 ペットシーツ

Q2

災害時どこに行けばいいのかわからないので、とりあえず墨田区役所へ避難する。
○か、×か?

Q4

日頃利用している食料品や医薬品、生活必需品を多めに用意しておく。
○か、×か?

※クイズの答えは5ページ下にあります。

避難行動



大規模水害の時の避難先

まずは

縁故避難

江東5区(墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区)外の浸水しない地域にある親戚・友人宅、ホテル、勤務先などへ避難

無理なら

在宅避難

自宅に浸水や流失、倒壊等のおそれがなく、食料品などに十分な備えがある時は、自宅のなるべく高いところに移動してとどまる

無理なら

区内縁故避難

区内の浸水しない地域にある親戚・友人宅、勤務先などへ避難

無理なら

水害時避難場所へ避難

区が開設する水害時避難場所へ避難



チェック



墨田区水害ハザードマップ

区役所5階 防災課・各出張所で配布しています

台風や大雨などの水害は事前に予測することができ、前もって準備することができます。参考例を作ってみました。「自分の命は自分で守る」という意識でマイ・タイムラインをぜひ作ってみてください。

日頃から	大雨になるかも 荒川が氾濫するかも	3日前	2日前	24時間前	12時間前～直前	台風 最接近
ハザードマップ（詳細はP4の二次元コードから）で自宅の洪水時の浸水深や避難先等を確認しておく。	テレビやラジオ等で気象情報をこまめにチェック。 	タイムライン2例 この例の他、水害時避難場所に避難するケースなどご自身のマイ・タイムラインを作りましょう！ 区外の親戚の家へ避難することを決めたAさんの場合 ■親戚に連絡。 ■ペットホテルにペットを預ける。 ■計画連休より前に親戚宅に出発。		避難完了 避難完了		避難完了 避難完了 
		自宅マンション9階で在宅避難を決めたBさんの場合 ■日常備蓄を確認し足りない物を買いつす。 ■ベランダにある飛びそうな物を家の中へ入れる。				

地震の時の避難行動

大地震発生

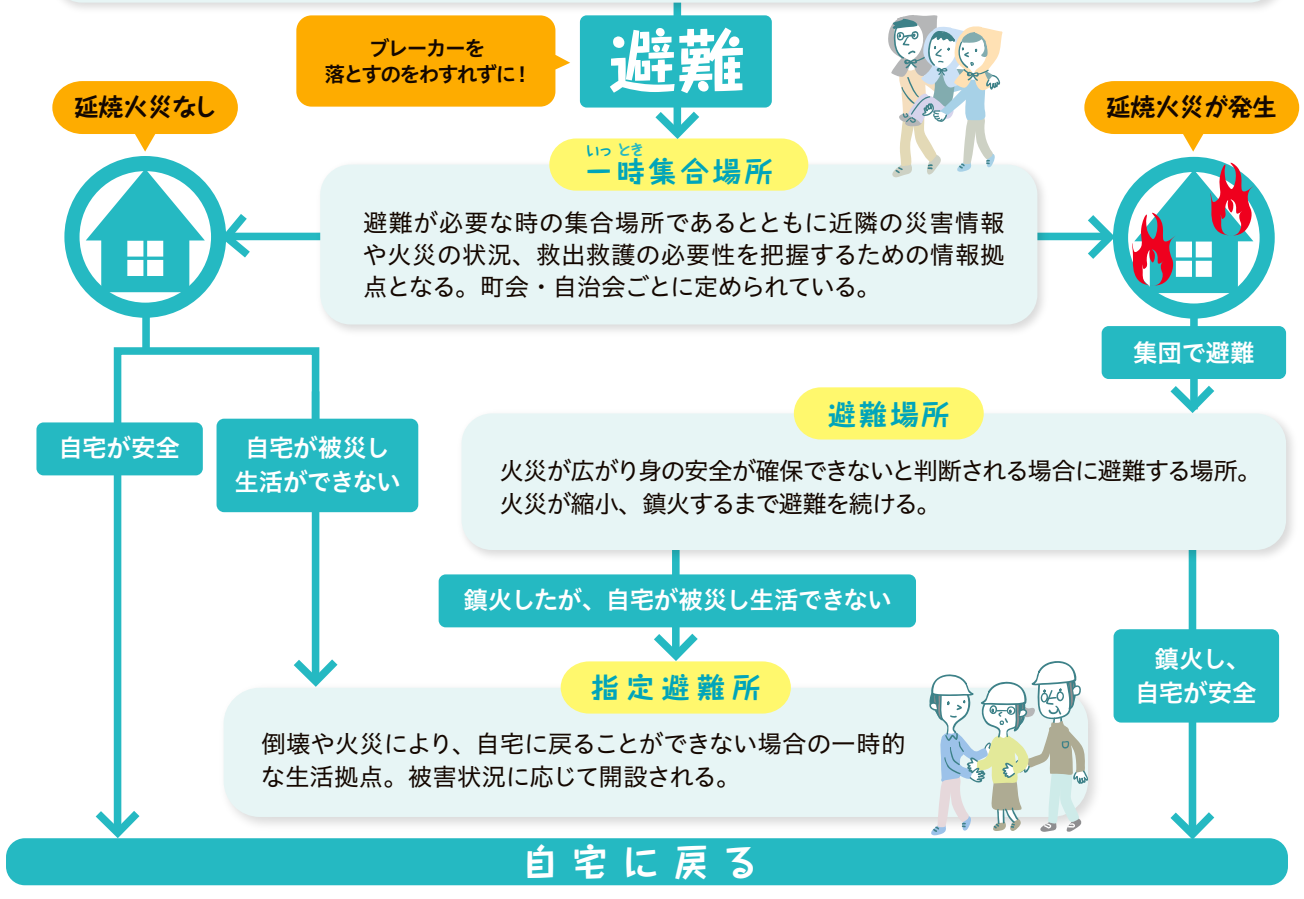
- 自分や家族の身の安全を守る行動
- 落ち着いて行動し、周囲へ大声で声掛けをする。「身を守れ！」など。
 - 身を守る行動をとる。(乳幼児を守る。身近にあるもので頭などを守る。倒れそうな家具などから離れる。)
 - 揺れがおさまったら火の始末をし、出口を確保する。

チェック



墨田区
防災マップ

区役所5階 防災課・各出張所で配布しています



災害により避難する場所は違います。事前に確認をして、落ち着いた行動ができるようにしておきましょう。



防災係

むろうち みさき
室内美咲さん

**墨田区で想定している災害、
また災害発生時の防災課の役
割について**

墨田区では洪水・高潮による水害と地震を主な災害として想定しています。災害発生時には、防災課在籍の15名の職員だけではなく、他の様々な部署と連携する形で災害対策本部が設置されます。避難所運営、道路、医療などそれぞれ部署ごとに仕事割り振られており、本部はそこから上がってきた情報に基づいてどう対処するか判断を下します。

**地域との連携と避難所につ
いて**

避難所を開設するような事態になった場合、町会・自治会の方にも協力していただくことになっています。そのため、平時から避難所の運営協力についての会議をしています。

荒川が氾濫するおそれがあるような水害の場合は、震災時に避難所として開設される場所でも利用できないケースがあります。状況に応じて、事前に、浸水想定区域外の親戚宅など頼れる所に避難していただければと思います。

避難訓練について

避難訓練は、町会・自治会や学校などが企画・実施するようになっています。区の支援が必要ながあれば相談、対応しています。区としては11月に総合防災訓練を実施しています。防災課だけで

はなく他の部署なども参加して、避難所設営の初動の動きを実際に行います。また、警察・消防、ライフラインの機関なども参加協力していただき、連携した総合訓練も実施しています。

要配慮者サポート隊について

各地域に、要配慮者に対する避難の事前準備、避難時のサポートをするための組織を結成するよう働きかけています。日頃からのつながりで動いてもらえれば、お互いに安心して居られるのではないのでしょうか。

準備と心構えについて

自分に必要な備えは何か想像し、食料や飲料の用意(ローリングストックがおすすめ)、簡易トイレの購入、家具の固定、ハザードマップの確認などできることから始めて備

えをしておいて欲しいです。薬やおむつ、ペット用品といった特別に必要な物は、日頃から多めに準備していただければと思います。

また、すみだ安全・安心メールへの登録、SNSの活用、区役所のサイト確認といった複数の情報収集手段を確保、考慮しておいて欲しいです。気象情報のアプリなどを入れておくのもいいですね。インターネットを使えない方の場合、携帯電話がいなければ、テレビのデータ放送での情報確認が可能となっています。



無線指令室でのインタビュー



すみだ防災フェア

防災シンポジウムと防災展

関東大震災から100年、
大規模災害への備えや
災害後の復興等の
防災情報をまなびませんか。

防災
シンポジウム
(事前申込制)

日時 令和5年9月2日(土)
午後2時～午後4時
会場 すみだ生涯学習センター
マスターホール

防災展 南部・北部の2会場で実施



詳細は区ホームページで
ご確認ください

日頃の備えとして大切なこと

日常備蓄

- 食料、飲料水、日用品、衛生用品など日頃から多めに購入し、使った分を買い足す「ローリングストック」で備蓄しておく。
- 常備薬の使用期限を点検し補充しておく。
- 簡易トイレや代替になるものを用意しておく。(新聞紙、ポリ袋など)
- 定期的の使用確認などをしておく。(カセットコンロ、ガスボンベ、懐中電灯、乾電池、ラジオ、予備バッテリー)
- 家族構成はそれぞれ違うので、各家庭の状況にあった準備をする。

地震の場合

- 家具類の転倒、落下、移動防止の対策をする。
- ガラス飛散防止フィルムを貼る。
- 寝室など身近な所に履物を用意しておく。
- 外出先での災害に備えて携帯する物を日頃から考えて持ち歩く。

水害の場合

- 区外(江東5区以外)への避難。広域避難、縁故避難などを考えておく。
- 在宅避難の場合は備蓄の確認・補充しておく。(台風など接近上陸3日前までに)
- 明るいうちに早めの避難を心がける。(特に、乳幼児、高齢者などへの配慮)

☑ チェック

災害に備えよう▶▶



「日常備蓄」で災害に備えようパンフレット(東京都発行)



東京備蓄ナビ(東京都)



地域での協力も大切!

日頃より地域でのコミュニケーションを図っておくこと。

編集委員が実践してみました

防災ポーチを作った

ポーチの中身▶

おくすり手帳、チョコレート菓子、消毒液、笛、ビニール袋、髪ゴム、絆創膏、シャープペンシル、消しゴム、リップクリーム、ワセリン、ティッシュ、ハンカチ、マスク



アルミシートを購入した

家具を転倒防止棒で固定した

アルファ米を食べてみた

冷蔵庫に地震時の避難先マグネットを貼った

一時集合場所……→ 柳島小学校
避難場所……→ 錦糸公園
指定避難所……→ 柳島小学校

避難時に空気クッションを購入した

墨田区水害ハザードマップを読んだ

災害時
一時集合場所: 京島南公園(セモス)
避難場所: 郡管文花一丁目住宅一帯
指定避難所: 第四音橋小学校

災害に備えた情報収集▶▶



墨田区公式ホームページ



すみだ安全・安心メール



墨田区危機管理ツイッター



墨田区公式フェイスブック



墨田区避難所開設状況システム



東武鉄道株式会社
運転士
おつかほのか
大塚 帆夏 さん
Honoka Otsuka

Profile

大学卒業後、2015(平成27)年に入社。東武スカイツリーラインの浅草駅で駅員として勤務の後、車掌の経験を積む。鉄道運転士養成所で訓練や試験を受け、免許資格を取得。現在、鉄道運転士として活躍中。

たくさんの人を乗せて走る、重みを感じながら

Q. 運転士になるまでのご経験や、運転士の業務について教えてください。

入社後、最初に配属された浅草駅で駅員としてお客様のご案内をしていました。下町情緒あふれる浅草駅は気さくな人が多かったです。外国人観光客も多く、英語での接客もありました。車掌としては、電車の後ろに乗り、車内放送などをしていました。その時、気を付けていたのは一方的にならないこと。どうしたらわかりやすいか、お客様の求めているものは何かと考えていました。

その後、免許資格を取得して運転士に。初めて運転した時は「こんなにも大きい物を動かしている!」とドキドキしました。電車を降りるたくさんの人を見るとやりがいや重要さを実感します。運転士になってからは、何があっても対応できるよう落ち着いて、常に考えながら運転しています。天候、区間によって気を付けることや、車両の特性があるので、その時、その車両に合わせて、運転をする必要があるんです。お客様が駅に着いた後のことにも気を配りながら、時間通りに



東武鉄道では、育児・看護をする社員がそれぞれの働き方を選べる施策や、さらなる女性活躍推進に向けた行動計画の策定、高齢者・障害者の雇用など、だれもがいきいきと働ける環境整備に努めています。

到着することや、乗り心地にも気を付けています。運転士は直接お客様と接することは少ないですが、お客様の気持ちを考えて行動する、駅員や車掌の経験が活きていると感じます。

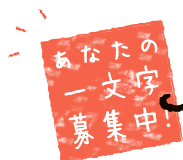
Q. 職場環境について教えてください。

男性が多い職場ですが、昔よりも女性が増えてきており、周りにも女性社員がいます。女性ならではの悩みや、泊まり勤務での苦労を相談できるのでありがたいです。現在、結婚し、夫と家事分担をしながら働いています。周りには子育てをしながら働く方もいて、その方から仕事との両立の大変さも聞いています。会社や周りの理解とサポートがあるので、今後、もし子どもを授かっても働き続けたいと思っています。これからは、駅員、車掌、運転士という3つの業務を経験したからこそ見える視点で、女性がもっと働きやすくなる制度やサポートを考えていきたいと思っています。それが、性別に関係なくみんなが働きやすくなることにもつながるはずです。



お仕事コンシェルジュ

鉄道運転士になるには運転免許資格が必要です。鉄道会社の養成所での教育訓練、身体・適性検査や学科試験合格後、実際に乗車業務をする中で、指導運転士に運転技能の指導を受け、技能試験合格後独り立ちします。



今日の一字



老若男女、誰もが自分らしく、ハッピーでありたいですね。

男女共同参画社会を目指し、みんながハッピーであるために、

あなたが日々の暮らしの中で感じた思いを「今日の一字」に例えて教えてください。



ゆりさん

いつも心の笑顔を忘れずに過ごしたいと思います。



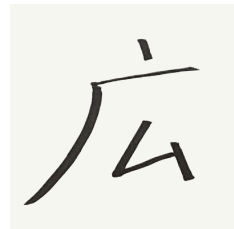
さえこさん

すみだ布の絵本の会で絵本を作成しています。喜んでいただいていることが継続的活動の力になっています。



まゆまゆさん

自分を取り巻くすべての方へ。日々感謝の思いで。



サボンさん

広い空、広い野原、あこがれが一字になりました。解き放たれた自由な気持ちが望みです。



墨田区立言問小学校に行ってきました！

国の有形文化財に登録されている歴史深い校舎に、子どもたちの声が響く言問小学校。そこで働く先生方に今日の一字を教えてくださいました。



ここ数年、コロナのこともあり大変でしたが、「縁」の大切さを強く実感しました。ひとりでは無理でも、人と一緒ならできる。昔のご縁に助けられたり支えられたり。今日を大切にしておけば、それがいづれ縁となって将来につながるのだと思います。



中嶋校長先生

優しい気持ちで接すると、相手も優しい気持ちになりますよね。子どもたちに接する時はもちろん、どんな時も一旦深呼吸して、「優しく、笑顔で」と心がけるようにしています。クラス全体が明るくなる秘訣です！



田村先生

いろいろな人に出会って影響を受け、その中で今の自分がいます。教師という職業は、毎年、多くの子どもたちに出会える仕事。人との出会いこそが魅力であり、楽しくてたまらない。この仕事が大好きな理由です。



嶋田先生

「今日の一字」を募集しています

【応募写真のテーマ】

手書きで紙に書いた、「今日の一字」の写真(1年以内に撮影したもの)
※墨田区在住、在勤、在学の方。
※野線の無い、無地の紙にお書きください。
※スマホ等で撮影した写真も可。

【応募方法】

作品の応募は電子投稿(Eメール)のみとします。以下の内容を記載し、Eメールで応募してください。
1) 応募者(撮影者)の名前(フルネーム、本名)
2) ペンネーム(掲載する際に使用)
※記載の無い場合は本名を掲載します。
3) 一字にのせた思いやエピソード、コメント等(50文字以内)
4) 連絡先(住所、電話番号)

【応募について】

- メールの件名を、必ず「すずかけ漢字投稿」としてください。
- 写真データは2メガバイト以内のJPEG形式をお願いいたします。
- お一人様何枚でも応募可能です。
- 応募1回につき添付する画像は1枚とします。
- 郵送による投稿の受付は行っていません。
- 随時募集しています！

【応募先メールアドレス】

suzukake@city.sumida.lg.jp

【注意事項】

個人情報の取り扱いなど、詳細は右記二次元コードより区ホームページ「今日の一字」募集ページをご覧ください。

その他詳細は以下のページをご覧ください





すずかけ インフォメーション

女性のための カウンセリング&DV相談

自分自身の生き方、夫・子どもや家族との関係、夫・恋人(元夫、元恋人も含む)からのあらゆる暴力、性被害、セクハラなど…。カウンセラーがお聞きして、気持ちの整理や解決の糸口を探すお手伝いをします。ひとりで悩まずにどうぞお話しください。秘密厳守、相談料は無料です。

対象

女性限定

原則 区内在住・在勤・在学

面接方法

面接あるいは電話相談で、予約制です。

相談日時

曜日(祝日・年末年始を除く)	時間
月曜日～水曜日、金曜日	午前10時～午後4時まで
第2、第4土曜日	午前10時～午後4時まで
第1、第3木曜日	午後3時～午後8時まで

まずは予約のお電話を ☎ 03-5608-1771

※ ご予約は、月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分から午後5時まで

「すみだにじいろ相談」を 始めました

すみだ女性センターでは、自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、多様な性に関するさまざまな相談に応じるため、2023(令和5)年7月から「すみだにじいろ相談」を始めました。ご本人はもちろん、家族、友人、会社の同僚、学校の先生など、どなたでも相談できます。秘密は厳守します。匿名でも大丈夫です。ひとりで悩まず、ぜひ「すみだにじいろ相談」にご相談ください。

相談日時

毎月第4木曜日 午後3時から午後7時まで
(祝日を除く)

電話番号

☎ 03-5637-8680

(直接相談員が対応します。)

※ ご予約は不要です。直接お電話ください。相談時間は30分間です。相談中はお待たせする場合があります。恐れ入りますが、しばらくしてからお掛け直してください。

お問い合わせ先

すみだ女性センター ☎ 03-5608-1771



「すみだ女性センター」は令和6年4月から 「すみだ共生社会推進センター」 に生まれ変わります

すみだ女性センターは、「墨田区女性と男性及び多様な性の共同参画基本条例」を受け、多様な性を前提とした男女共同参画社会を実現するため、施設の名称を「すみだ共生社会推進センター」に2024(令和6)年4月から変更し、幅広く啓発事業を行っていく予定です。

また、名称変更にあわせ新たに愛称名を募集することとしました。現在の愛称は「すずかけ」で、広報誌等に使用されています。

今後の募集方法や愛称名発表につきましては、区報やすみだ女性センターホームページをご覧ください。

募集期間 令和5年9月11日(月)から 9月24日(日)まで	募集方法 直接投票及び 電子申請(LoGoフォーム)	お問い合わせ先 すみだ女性センター ☎ 03-5608-1771
--------------------------------------	----------------------------------	--

女性センター事業 [予告]

8月30日(水)

● すずかけキッズコンサート(共催)

9月23日(土)

● すずかけひろば

10月20日(金)、27日(金)
11月2日(木)

● 子育てママ講座(全3回)保育付

11月予定

● すみだパバスクール(全3回)保育付

11月16日(木)

● 女性しごと応援キャラバンinすみだ(共催)

※ 詳しくは区ホームページよりご確認ください。

概ね講座実施1か月前に
すみだ区報に募集掲載し
ます。都合により講座を開
催しない場合があります。
ご了承ください。

すみだ女性センター運営委員会委員が 改選されました。任期は2年です。

運営委員

委員長

西澤 直子

委員長
職務代理者

内田 淳

委員

大石 あつ子

国松 てるみ

小西 純也

坂根 慶子

志波 洋子

杉山 敦志

高林 マリ子

武市 海里

眞能 貴代

(五十音順)

墨田区男女共同参画推進拠点施設

すみだ女性センター ～すずかけ～

◆開館時間◆

[月曜日～土曜日]
午前9時～午後9時
[日曜日・祝日]
午前9時～午後5時

◆アクセス◆

〒131-0045
東京都墨田区押上二丁目12番7-111号
TEL:03-5608-1771
FAX:03-5608-1770

電車の場合

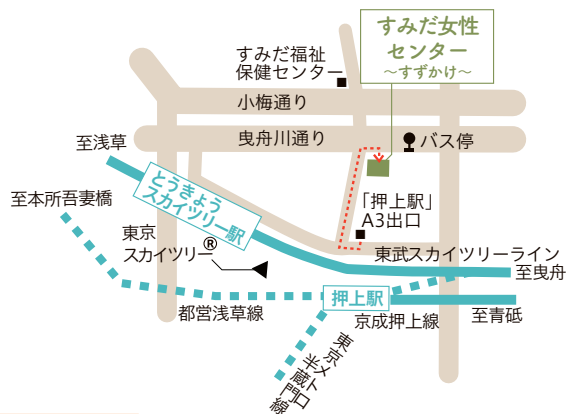


京成押上線・都営浅草線・
東京メトロ半蔵門線
「押上駅」下車A3出口徒歩5分
東武スカイツリーライン
「とうきょうスカイツリー駅」下車
徒歩7分

バスの場合



都バス(錦40)
南千住駅東口～錦糸町駅前
「向島三丁目」バス停前徒歩1分



編集委員からひとこと

「今、災害が起きたらどう行動すれば良いか」「災害後、どのように生活できるか」を想像したことはありますか?私は初めての「すずかけ」の編集をする中で、防災について知らないことが多いと感じ、調べ今できることを実践してみました。その中で大切だと思ったことは、災害が起こる前に災害を知り、

備えておくことです。特集記事では、災害に対するよくある思い違いをクイズ形式でまとめ、楽しく知識が身につくように工夫してみました。今号を読んだことをきっかけに、今から備えようという気持ちになっていただけたらうれしいです。

(浅井)

すずかけ編集委員会「特集」P4～P7、「こんにちはすみださん」P12担当
浅井、川嶋、高林、横山(五十音順)

西村 紀子さん

防災士

にしむらのりこ

女性の防災士

として活躍する



防災士という資格があるのを知っていますか。

向島に住む西村紀子さん
は本所消防団第8分団に所属する消防団の一員として活動されています。そのかわら、5年ほど前に墨田区が地域の防災意識を高めることを目的として掲げた防災士育成プログラムに町会より推薦を受け受講し、防災士の資格を取得しました。資格取得に向けて、講義では経験者や大学教授の話を聞く他、分厚い教本での学習もあり、試験ではなじみのない問題も出題され結構難しかったと振り返ります。

防災拠点が上手く機能するよう話し合うなど、普段から準備を強く意識しているそうです。総合防災訓練や町会の防災訓練にも積極的に参加して防災カードゲームHUG(避難所運営ゲーム)を参加者と体験したり、

水害時と震災時の避難所開設の違いや避難行動の順序など、災害時の身近な話を町会の人達に直接話すようにして地域の皆さんとの交流を深めています。

西村さんはPTA会長をしていたので地域とのつながりはあったそうですが、東日本大震災を経験してそれまで以上に地域防災について考えるようになったそうです。「備えることはもちろん大事だけれど、人とはつながることが一番大事です。普段からコミュニケーションが取れていれば

お互いに助け合えます。私は人と人のつなぎ役と思いながら消防団も防災士もやらせていただいています」とおっしゃっています。

墨田区は新しく越してくる人も多く、人口が増え小学校のクラスも増えているそうです。若い人や新しい人には地域のイベントや集まりにどんどん顔を出し知り合いを増やすようにと声掛けもしているそうです。

小学校高学年から中学生にかけてはもう地域防災活動の担い手になってくれるので、子ども達から防災の知識を高めていき、一緒に防災に関わっていきたい、その中から消防団、防災士へと続き、地域防災に加わっていく人が増えていけば良いと考えているそうです。

最後に西村さんに改めて

防災士とは、と質問してみました。「防災の知識や訓練を通して人と人、地域と地域をつなげる役目を持つ人。人と人が出会っていく中で学ぶことはたくさんあります。つながりが一番大事、それが防災力だと思います」と答えて下さいました。

自助・共助・協働を兼ね備えた頼もしい防災士が、いつも私たち区民に寄り添ってくれていることを知りました。

(高林)

